



## スイッチボックス

電動式の軽量シャッター、重量シャッター、オーバーヘッドドアは、スイッチボックスのボタンで開閉操作が出来るため、スイッチボックスを建物外部に設置する場合には、防犯性能試験に合格したスイッチボックスを使用します。

### スイッチボックスの概要

#### 押しボタンスイッチ



(写真はAタイプ及びCタイプを示す)

#### <錠構造>

ピッキング対策を考慮した錠を使用し、ピッキングに強い構造となっている。

#### <ボックス構造>

扉の強度をアップし、穴開け、こじ開けに強い構造となっている。

#### <CPラベル>

スイッチボックスの扉表面



#### 電子デジタルキー等



(写真はDタイプを示す)

#### <制御方式>

スイッチの制御機構がスイッチボックスとは別置きされ、シャッター本体のボックスに収納されるタイプのもの。

### スイッチボックスのバリエーション

#### Aタイプ・Cタイプ



- ・扉の開閉が回転式のもの
- ・AタイプとCタイプはの違いは扉の補強方法による

#### Bタイプ



- ・扉の開閉が上下スライド式のもの

#### Dタイプ



- ・電子式スイッチのもので、スイッチ制御部がスイッチボックスと別に置かれるもの

#### 【抵抗時間】

侵入者がピッキングやスイッチボックスの蓋の穴開け、こじ開けなどの行為を開始してから建物内部に侵入が可能になるまでの時間を「抵抗時間」と呼び、各商品ごとに定められた試験を行い、抵抗時間が5分間以上であることを確認されたものが「防犯性能の高い建物部品」(CP製品)として目録公表されています。

#### ※ ご注意

CP製品は、客観的に評価された防犯性能を有する製品ですが、侵入を完全に防ぐものではありません。従って、侵入犯罪による物品の損害も同様に損害賠償の対象とはなりません。